

## 総会のひと時

### ワインありがとうございました

思いがけず、宅配便で「ワイン」を贈って頂きました。早速夕食と共にグラスを傾けました。

酔いが回っても車の運転が控えているわけでもないので、思いっきり頂きました。（痛飲）

醸造主であられる22期/前田進様に感謝申し上げます。と思います。

またお忙しいのに丁重に、丁寧な荷造りパッキング、梱包をして頂きました。

あたかも孫たちの笑顔を想像しながら、にこやかな笑みの表情で、作業を進めておられるお姿が彷彿と心のうちに浮かんできます。

おいしいワインが馬車に乗って運ばれてきました。感謝申し上げます。



中から出てきた、岡田会長、前田事務局長ご両人様のご挨拶レター、「ワインをどうぞ！」

何とも優雅な、ロマンチックな、ぶどう園が目に飛び込んでくるような感覚に、引き込まれるような、おしゃれなタイトル。

疲れが吹っ飛び、北辰会総会を成功のうちに終わることが出来たという、その時の感激が今ここに再び登場し、最高潮に達成感の喜びを与えてくれました。これで私が心の中に有していた「総会成功の思い」はここでやっと落ち着きを見せたのではないのでしょうか。

「ワインをどうぞ！」 この素敵な言葉、響きは、疲れた私の心を癒し、多忙な日常のビジネス・ワークに対する新たなチャレンジ精神にさらなる闘争心に火を付けてくれました。

これは何がなせる業なのでありましょうか！アルコールの所為もちよっぴりあるのでしょうか！いえいえ私はまだまだアルコールには溺れていませんよ。色々考えますには、やはり背景には「年代、垣根を超えて語り合える、触れ合える、北辰会という大きなバックボーン、そして会友の存在」が挙げられるのではないのでしょうか。一人でない自分の存在を認識します。

## 先輩、後輩諸氏と紡ぐ楽しい北辰会

またこのたび、「北辰Ⅴ」～ほたるに雪に～上下巻」発刊にあたり、その「校正」作業に名乗りを挙げて参画させて頂きました。地道な作業では有りますが、良い本として完成させるための一助ですから、文字通り一字一句目を光らせなければなりません。

作業は確かに苦痛の一面もありましたが、登場される多くの先輩、後輩諸氏の作品（手記）に接するに連れ、なんと素晴らしい方の多いことか、余りにも全ての方々が素晴らしい方々なので感嘆してしまい、形容のしようがありませんでした。

この作業で得たことの一つは、その認識が出来たことです。そして私はまだまだ未熟もので、もっともっと勉強が必要である。更に北辰会友と連携を以って、充実した人生を送りたいものだと思いました。

この本は「北辰生の魂の響き」を発振しています。願わくは多くの会友に読んで頂きたいと希望します。そしてほんの小さな私も北辰生の一人なのだという認識を忘れずに、皆さんと楽しく仲良く進みたいと思います。

お礼の言葉が悪い癖で、少し台風の様に迷走してしまいました。お許し下さい。

おわり